

3. 埋却用地確保状況

埋却用地 あり ・ なし

農場名

(4. 焼却・化製のための措置へ)

埋却用地が ①自己所有の用地 or ②自己所有以外の用地 (いづれかに○してください)			
埋却用地の住所	〒 (日本測地系の経度・緯度の表記も可能)		
埋却地の面積	m ²	農場から埋却地までの距離	m
埋却地の利用状況	水田・畑・果樹園・その他 ()		
埋却用地の近隣住民そのたの関係者への埋却に関する説明	あり (その時期 年 月) ・ なし		
埋却用地の近隣住民そのたの関係者への埋却に関する承諾	あり (その時期 年 月) ・ なし		
自己所有地以外の用地について	所有者名 () 契約内容 ()		
その他埋却に参考となる事項			

4. 焼却・化製のための措置

焼却・化製のための措置 あり ・ なし

(5. 処分方法を確保するための取組状況へ)

焼却施設・化製場の名称			
焼却施設・化製場の住所	〒		
農場から焼却施設・化製場までの距離	km		
焼却施設・化製場の近隣住民そのたの関係者への埋却に関する説明	あり (その時期 年 月) ・ なし		
焼却施設・化製場の近隣住民そのたの関係者への埋却に関する承諾	あり (その時期 年 月) ・ なし		

5. 処分方法を確保するための取組状況 (該当番号に○)

1、埋却用地を探している。 2、埋却用地の所有者と交渉している。
(所有者は、個人・企業・市町村・団体・県・国)

3、焼却施設 (化製施設) を探している。 4、焼却施設 (化製施設) 担当者と交渉している。

5、その他 (下に記載)

()

6. 大規模所有者の報告 (牛：200頭以上、豚：3000頭以上、鶏：10万羽以上)

担当獣医師の氏名	
担当獣医師の所属 又は診療施設名	

※大規模所有者(馬の所有者を除く。)は、従業員が農林水産大臣の定める一定の症状を確認した場合に、家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写しを添付する。

〔別途、提出する書類と記載内容について〕

1、提出書類

農場の平面図（別添住宅地図を活用）

2、農場の平面図へ記載する内容

(1) 衛生管理区域とその出入口

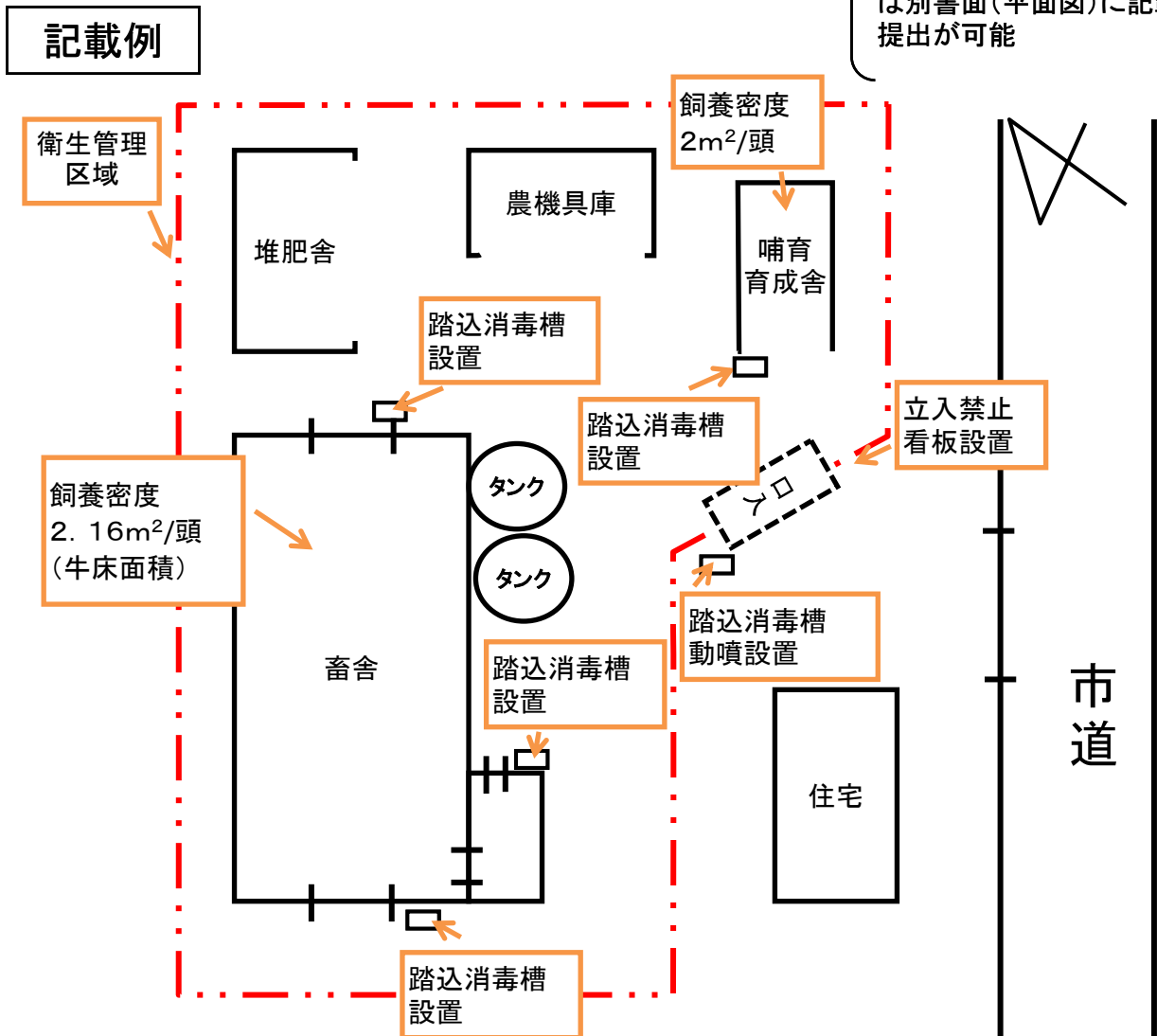
(2) 消毒用設備の設置場所（衛生管理区域出入口と畜舎出入口）と設備名（踏込消毒槽など）

(3) 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置の内容

（出入口付近に立看板を設置、出入口にゲートを設置し施錠など）

(4) 畜舎ごとの家畜の飼養密度（1頭羽当たりの床面積 m^2 ）

2、(2)の設備名、(3)、(4)は別書面(平面図)に記載し提出が可能



<参考>大規模所有者の定義

月齢が満17月以上の乳用種の雄牛・交雑種の肥育牛	200頭以上
月齢が満24月以上のその他の牛	
月齢が満4月以上満17月未満の乳用種の雄牛・交雑種の肥育牛	3,000頭以上
月齢が満4月以上満24月未満のその他の牛	
水牛・馬	200頭以上
鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし	3,000頭以上
鶏・うすら	10万羽以上
あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥	1万羽以上